



学校便り

No. 10

# 夢・挑戦

令和2年3月23日

水俣市立水俣第二中学校

校長 高橋 裕二

## 笑顔で楽しくねばり強く人生を歩もう!!

3月15日、新型コロナウイルスの影響で卒業生と在校生代表、保護者、そして教職員で開催した第9回卒業証書授与式が無事終了しました。

送辞では、在校生代表緒方さんが、「体育大会や文化祭、部活動などでの、3年生の強く、かたい絆や、最後まで諦めずにプレーする姿にとっても感動しました。」と卒業生へ感謝の気持ちを伝えました。

答辞では、卒業生代表森君が、「みんなと一緒に過ごした日々は、かけがえのない宝物です。私たちはこれから、自分自身で選んだ道を歩んでいきます。」と力強くお別れの言葉を述べました。



【卒業証書授与】

私からは、以下の3つの言葉を卒業生に送りました。

1つ目は、目の前のやるべきことにまずは取り組んでください。今自分ができることや、今自分に与えられた仕事、役割を地道に取り組むことから始めてください。学校の勉強や部活動、掃除など、誰にでもできる目の前のことや当たり前のことを、誰にでもできないくらいに本気に取り組むことで、自分のやりたいことや夢、目標が実現できるはずですよ。

2つ目は、目の前の人を大切にしてください。夢や目標を実現するためには、自分一人の力では達成できません。自分の周りにいる仲間や、指導して下さる先生や指導者、支えて下さる家族など、多くの人々の力添えが必要になります。武者小路実篤は、「人の価値は、他人に働きかける質と量で決まる」と述べています。人のために何ができるかという視点を持ち、まずは目の前の人を大切にしてください。



【卒業生全員合唱】

3つめは、忍耐力です。勉強や部活動、そして仕事もうまくいくことばかりでなく、むしろ失敗することが多いと思います。大切なことは、失敗から学び、絶対に諦めないことです。どの分野でも、世界レベルになるためには、1万時間の練習や努力が必要であると言われています。1日4時間、年間250日で、10年かかり、忍耐力がなければできません。

最後に、柏木君の指揮で、卒業生が気持ちを一つにして涙ながらに「ありがとう」を合唱し、感動とともに水俣二中を巣立ちました。

## 今年度、夢に向かって挑戦できましたか？

修了式が全体でできませんでしたので、文面で伝えます。1学期始業式に「学校が楽しい、教室が楽しい、授業が楽しい」学校づくりを目指し、①望ましい人間関係づくりのために、コミュニケーション能力を身に付けること、②勉強や部活動などで結果を残すために、準備をしっかりとすること、③楽しい集団生活のために、「あいさつ・返事・言葉遣い」そして、「時間を守る、ルールを守る、約束を守る」ことの3つをお願いしました。この1年間、いかがでしたか。以下、今年を振り返ってみました。

### 【良かった点】

- 学習面では、授業をよく見て回りましたが、どの学級も授業態度が良かったです。
- 生活面では、1・2年生ともに部活動を頑張り、落ち着いた学校生活を送ることができました。

### 【課題や改善点】

- 学力が二極化しています。学校では、授業時間が一番長いです。授業の予習・復習をしっかりと。
  - 自分から先に、相手に聞こえるような大きな声であいさつをしましょう。
  - 車で送ってもらう生徒を時々見かけました。雨の日でも、傘や雨カップで登校しましょう。
- 最後に、4月に全学年対象に標準学力検査があります。春休み中に前年度の学習内容を、しっかり復習してください。なお、4月新3年生が実施予定の全国学力・学習状況調査は延期となりました。

昨夏、昭和30年卒第6期生の旧水俣二中卒業生お二人の方が来校されました。今は水俣市と大阪市に、それぞれ在住されています。

当時の二中の様子や先生方のことを、懐かしく話してくださいました。また、当時の授業のこともよく覚えておられ、先生からは「知識だけでなく、自ら考えることの大切さ」を学ばれたそうです。二中で学んだおかげで、お二人が働かれた大阪市の工場で色々な新しいことを開発して、会社のために貢献することができたそうです。

その後、校内を案内し、理科室では石を薄く削って結晶を調べたことを思い出されました。玄関に掛けてあった当時の木造校舎の写真を見つけられ、感動されていました。母校愛の深さとともに、中学校時代がその後の人生に大きな影響を与える教師の責任の重さや働きがいも感じました。

※保護者、地域の皆様、1年間お世話になりました。